

第1回勝山市立中学校再編準備委員会 議事録

(1)日 時：令和4年4月28日（木）午後7時より、（教育会館 第1研修室）

(2)参加者：準備委員21名（1名欠席）、事務局8名、報道3名、傍聴2名

(3)内 容

- ①教育長あいさつ
- ②委員委嘱及び委員長・部会長の選出
- ③協議：勝山市立中学校再編準備委員会開催要綱（案）
- ④資料説明及び意見交換
  - ・各専門部会について
  - ・これまでの経緯及び今後の方向性
  - ・中高連携について
  - ・施設について

①《教育長あいさつ》（省略）

②《委員委嘱及び委員長・部会長の選出》

- ・委嘱書は机上に配布。
  - ・設置条例に従い委員長を互選。
  - ・準備委員会委員長に三田村彰氏（福井大学大学院学長補佐特任教授）、
  - ・総務部会長と学校運営部会長に三田村彰氏、
  - ・PTA部会長に木下克則氏（勝山高校同窓会長）、
  - ・施設整備部会長に西本雅人氏（福井大学学術研究院工学系部門講師）
- を選任。

③《協議》

勝山市立中学校再編準備委員会開催要綱（案）

事務局 ・開催要綱（案）の説明。

委員1 ・専門部会またワーキングチームについても非公開にしてほしい。方向性を更に進めていくにあたっては、建前論ではなく本音でぶつかっているいろいろな話していくことが大事。少人数で自由な忌憚のない意見をいただける。

委員2 ・若い先生方が多いと非公開の方が意見が言いやすいのではないか。

委員長 ・この会の目的等を踏まえて皆さんご同意いただけるか。  
（全会一致で可決）

④《資料説明及び意見交換》

（各専門部会について）

事務局 ・R4年度準備委員会開催計画、R4年度専門部会の検討事項の説明

委員1 ・施設整備部会の協議事項に学校の歴史等の継承があるが、何か理由があるのか。

事務局 ・角鹿小中学校には合併した小学校の歴史を少し校舎にちりばめてあった。施設整備部会が適当かどうかは別にして上げさせていただいた。

委員2 ・4部会に分かれて非公開でするのは賛成。ただ部会が何をやっているのかわからない。何回かのうちに全体会をしてほしい。

事務局 ・設置要綱で一旦説明したがこの準備委員会が全体会として設置。専門部会では協議をするが、それを決定する場がこの準備委員会と考えている。

（これまでの経緯及び今後の方向性）

事務局 ・勝山市立中学校再編計画に従ってこれまでの経緯を説明。

・これまでに様々な機会でも市民の皆様から頂いたご意見、それに対する市の回答、各種会議でのご意見、パブリックコメント、公開質問を紹介。

・Q&Aを紹介。

教育長

・今回の再編計画のポイントを説明。(中学校統合と勝高との連携)

・中学校統合：子供が少なくなって学校規模が小さくなる、クラスの人数が少なくなると一人一人に目が届くので、丁寧な指導が可能になるというメリットがある。一方で先生の数が減ってくる、部活動ではチームプレーなど活動に支障が生じて削減縮小となる。また、1クラスしかないクラス替えができなくなり、人間関係を広げようというところでは支障が出るという課題が指摘されている。丁寧な指導が可能な一方で十分な教育環境が維持できなくなってくるということ、これまでの議論にもあったと思うが、このようなことが統合するという判断につながっている。

・勝高との連携：今の子供にどんな教育が求められているのか。言い方を変えると今の子供に求められる資質能力、身につけさせたい資質能力ということになる。今の時代は予測困難で急激に変化する時代であり、またAIに象徴される Society5.0 の時代である。教科書で勉強して知識を身につけるだけではなく、身につけた知識技能を活用して例えば教科横断型の学習をしたりいろんな地域の課題に目を向けて課題解決学習をすることが重要とされている。その過程で必要なことは、多様な人々と協働しながら学習を進めるということ、それができる力を身につけなければいけないということ。これは高校も同じで普通科高校であっても最近では高校生が地域の課題に目を向けて高校生の視点で、最適解を見出すような探究的な学習が進んでいる。大学入試も変わってきて、何を知っているかを評価するだけでなく高校三年間で何ができるようになったのかということも評価する入試が広がってきている現状もある。中学校統合というタイミングで、中学校高校がそれぞれで一生懸命頑張ることも当然あるが、それよりも中高が近くにあって連携して6年間を見通したカリキュラムを作って学習する機会を子供たちに提供するということが高い教育効果があると思う。中学校高校それぞれが教科の学習をしっかりして、中高を接続して学習するとすごく効果があるという所を連携していくという考え方でカリキュラムを考えていく必要がある。一方で、体育館や教室の共用など課題も指摘されているので、これからの議論の中で、子供にとってより良い環境となるようご意見をいただきたいと考えている。

(中高連携について)

事務局 ・県中高一貫教育検証委員会報告書抜粋を説明

- ・中高一貫教育(国の制度)について
- ・教育課程の特例について
- ・本県の現状について
- ・「高志学」について

(施設について)

事務局 ・国の学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議報告の抜粋を説明

委員1 ・ジオアリーナの駐車場を利用するとか、トンネルを作るとかという話が出ているが、勝山高校のグラウンドの西からの吹き上げ風がものすごい。冬場に子供が行けるのか。研究してほしい。

事務局	・ジオアリーナのことだけでなくいろんなことでご懸念、心配することがたくさんあるしこれまでも昨年の議論でいただいている。それを一つずつどうしたら改善できるか解決できるか、知恵を絞っていきたい。
委員長	・この学校は何十年と勝山の財産として残っていくので子供に最も良い環境をわれわれは残せるのかという議論をしたい。

資料1. 令和4年度勝山市立中学校再編準備委員会（専門部会）委員名簿

資料2. 勝山市立中学校再編準備委員会開催要綱（案）

資料3. 令和4年度準備委員会（専門部会）開催計画

資料4. 令和4年度各専門部会検討事項

資料5. 勝山市立中学校再編計画+資料

資料6. いただいたご意見（再編（案）に対する意見、パブリックコメント、公開質問）

資料7. 勝山市立中学校再編計画（案）Q&A

資料8. 県中高一貫教育検証委員会報告書より

資料9：文科省の資料、県内の特色ある施設事例

資料10：勝山市立中学校再編準備委員会条例